

東京音楽大学

学内

第九 演奏会

TCM



指揮: 広上 淳一
©Masaaki Tomitori



ソプラノ: 白石 若菜



アルト: 須賀 さくら



テノール: チョン・サンヨン



バス: 大城 颯佑



2025年

12月26日(金)

東京音楽大学 100周年記念ホール
(池袋キャンパス)

18:00開演(17:15開場)

全席指定 1,000円



2025年11月6日(木)10:00より
一般予約受付開始

◀東京音楽大学チケットサイト

<https://www.s2.e-get.jp/TCM/pt/>

※在学生は、本学より付与されている会員アカウントをご利用ください。
※やむを得ぬ理由により、予告なく、出演者、曲目等変更の可能性がございますので、ご了承ください。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。また、車椅子をご利用の方は演奏センターまでお問い合わせください。



◀東京音楽大学 演奏会情報チャンネル

当公演は、後日、東京音楽大学 演奏会情報チャンネルにて動画配信の予定です。

指揮: 広上 淳一 Junichi Hirokami

ソプラノ: 白石 若菜(修士2年) Wakana Shiraishi

アルト: 須賀 さくら(学部4年) Sakura Suga

テノール: チョン・サンヨン(学部4年) Jeong Sangyeong

バス: 大城 颯佑(学部4年) Sasuke Oshiro

管弦楽: 東京音楽大学シンフォニーオーケストラ(Aオーケストラ)

合唱: 東京音楽大学合唱団

(合唱指導: 志村 文彦、杉野 正隆、藤牧 正充、浅井 隆仁)

尾高 惇忠／

合唱組曲「春の岬に来て」混声合唱とオーケストラのためにより

1. 春の岬に来て

3. 鶯のうへ

7. 子守唄

L.v. ベートーヴェン／

交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱付き」

【お問い合わせ】

演奏会お問い合わせ窓口 TEL 03-6379-3788(10:00～17:00 平日のみ)

【主催】東京音楽大学 【後援】豊島区



指揮: 広上 淳一 Conductor : Junichi Hirokami

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロバス響のポストを歴任。近年では、ヴァンクーヴァー響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、パルセロナ響、モンテカルロ・フィル、ラトビア国立響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。2008年より14年間にわたって京都市交響楽団常任指揮者を務め、輝かしい時代を築いた。15年には同団と共にサントリー音楽賞を受賞。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストリック・リーダー、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。また、東京音大指揮科教員として教育活動にも情熱を注いでいる。2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

Profile



ソプラノ: 白石 若菜(修士2年)

Soprano : Wakana Shiraishi

栃木県出身。東京音楽大学付属高等学校ピアノ専攻を経て、東京音楽大学声楽芸術コースを卒業。現在は同大学院音楽研究科オペラ研究領域に在籍し、オペラの研鑽を積んでいる。2024年度の大学院オペラ公演では、W.A. モーツァルト作曲《フィガロの結婚》にて伯爵夫人役を務め、2025年度には同じくモーツァルト作曲《ドン・ジョヴァンニ》にてドン・エルヴァラ役を務める。これまでに、ピアノを広瀬宣行、八木智子の各氏に、声楽を菅有実子、荻原みか、嘉田真木子の各氏に師事。



アルト: 須賀 さくら(学部4年)

Alto : Sakura Suga

埼玉県出身。幼少期を大阪で過ごす。17歳より声楽を始め、現在東京音楽大学声楽専攻4年在学中。これまでに中嶋俊晴、立原ちえ子、菅有実子、嘉田真木子の各氏に師事。



テノール: チョン・サンヨン(学部4年)

Tenor : Jeong Sangyeong

東京都江戸川区出身。東京朝鮮中高級学校を経て現在、東京音楽大学 声楽専攻 声楽特別演奏家コース4年在学中。12歳より韓国・朝鮮の歌曲、民謡を学び始め、17歳から本格的に声楽を始める。2024年3月、第13回音楽大学フェスティバル・オーケストラにて、シルヴァン・カンブルラン氏指揮『ダフニスとクロエ』の同大学代表合唱メンバーとして出演。同大学特任教授である森麻季氏の特別レッスンを受講。これまでに声楽を故・佐野成宏、小森輝彦、倉石真、指揮を石坂宏の各氏に師事。



バス: 大城 颯佑(学部4年)

Bass : Sasuke Oshiro

千葉県立幕張総合高等学校総合学科芸術系卒業。現在、東京音楽大学声楽芸術コース4年在籍。声楽を杉野正隆、作曲を久保哲朗、合唱指揮を柳嶋耕太の各氏に師事。

東京音楽大学シンフォニーオーケストラ(Aオーケストラ)

Tokyo College of Music Symphony Orchestra

長い歴史に培われた伝統ある東京音楽大学シンフォニーオーケストラは、東京芸術劇場で毎年「定期演奏会」を行っているほか、地方都市で開催される演奏会にも出演し好評を博している。海外公演はこれまでに30余りの都市で行っており、なかでも2009年春(指揮: 広上淳一教授)、2012年春(指揮: 小林研一郎名誉教授)のヨーロッパ公演では満員の観客を魅了する演奏を披露した。本公演に出演のAオーケストラは「定期演奏会」に出演しているオーケストラとは別の団体で、2021年11月に本学学生ソリスト、合唱団とともに、広上淳一教授指揮による学内「第九」演奏会に出演。以降、広上教授指揮のもと、演奏者すべて本学学生による「第九」演奏会を毎年開催している。2025年度も12月に本学100周年記念ホールにて演奏を予定。

合唱: 東京音楽大学合唱団

(合唱指導: 志村 文彦、杉野 正隆、藤牧 正充、浅井 隆仁)

Tokyo College of Music Chorus

東京音楽大学合唱団は「合唱」授業科目の履修者から選抜された学部生と声楽専攻の大学院生を中心に構成する混声合唱団で、国内外の著名オーケストラと数多くの共演を果たしている。日本フィルハーモニー交響楽団との共演は、「第九」を始めとして1979年以来40年以上の歴史を持つ。2023年には日本フィルハーモニー交響楽団「クレルヴォ交響曲」「第九」「道化師」「カルミナ・ブラーナ」、2024年には「地中海のテーマ」「第九」、2025年には「復活」「仮面舞踏会」「惑星」に出演。合唱指導は2024年度より、志村文彦、杉野正隆、藤牧正充、浅井隆仁の各氏に加え、フレンドリー・アドバイザーとして広上淳一氏を迎えている。

会場案内

東京音楽大学
池袋キャンパスA館
100周年記念ホール

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

JR、私鉄、地下鉄「池袋駅」東口
またはJR「目白駅」より徒歩約15分

副都心線「雑司が谷駅」1番出口、
都電荒川線「鬼子母神前」より
徒歩約5分



◆会場へは公共交通機関をご利用ください。

東京音楽大学主催演奏会 運営について

東京音楽大学主催演奏会では、感染対策を講じて、お客様に安心して公演をご鑑賞いただけるよう努めております。右記QRコードで東京音楽大学HPの「東京音楽大学主催演奏会ご来場にあたってのお願い」を必ずご確認ください。なお、体調不良が見受けられる場合は、入場をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。



演奏会での標準的なSDGsの取組

東京音楽大学は「東京音楽大学環境方針」を踏まえ、「音楽と社会をつなげる」をミッションに、学生・教職員が一体となって、地域社会・事業者等との連携により、SDGsに積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することとしました。各々の演奏会では、学生・教職員は、標準としてSDGsが掲げる17の目標のうち、次の6つを意識し、音楽が持つ特性を十分に発揮し、素晴らしい感動と未来への夢などを提供することを目指すこととします。



3. すべての人に健康と福祉を
演奏会は、心に安らぎや、活力を与えてくれます。



4. 質の高い教育をみんなに
演奏会は、生涯学習の一端を担います。



10. 人や国の不平等をなくそう
演奏曲は、その曲の作者やその時代背景などからその国や人を理解するきっかけをつくり、不平等をなくす営みを促します。



11. 住み続けられるまちづくり
演奏会は、鑑賞していただく周辺地域の方々と共に創り上げて行くものです。本学では、この姿勢をまちづくりに展開することを目指し、エリアマネジメントの取組を進めております。



16. 平和と公正をすべての人に
演奏会は、分け隔てなく参加することができます。この精神をみなさんにお伝えし、平和と公正を促して行くことが責務と考えています。



17. パートナリシップで目標を達成しよう
演奏会には、大勢の人の協力が不可欠です。この姿勢は様々な目標を成就させるための重要な要素です。本学は、演奏会参加者が、この姿勢をより深め、持続可能な社会の実現に貢献できる人材育成に寄与します。